

【 産業建設常任委員会 所管事務調査 】

新土地利用について（ 7 月 16 日白岡市役所 ）

白岡中学校周辺区域土地利用推進事業について、事業完了までのスケジュールについては既に報告を受けていましたが、新たに白岡中央病院から病院の新築移転に関する要望書が市長に提出された報告がありました。また、商業需要調査では、市民アンケート、企業アンケートにより「ネイバーフッド型ショッピングセンター」型の商業施設が望ましいという結果が出ています。しかし、新型コロナウイルス

【 産業建設常任委員会 所管事務調査 】

イルスの感染拡大後における企業訪問調査では、食品スーパー、ホームセンター、ドラッグストア業種以外は、現在の社会経済状況下での新規出店は厳しいとのこと。さらに、県との協議では、市街化区域への編入、県道春日部菖蒲線の渋滞対策等を進めており、今後は公園や調整池等を進める予定とのこと。

当土地利用推進事業は、「賑わいの創出」を目的に商業施設中心の土地利用、農業振興

【 産業建設常任委員会 所管事務調査 】

との調和ある都市開発により市民のニーズに沿った形で実現することを望みます。しかし、今後の経済活動の落ち込みや市税の減収といった悪影響もあり、長期的事業については一考する余地があると思います。当事業の推進には、多くの課題が散見されますが、現在、早急に取り組むべきは、病院の新築移転の受け入れと考えます。11年度の事業完了を目指して県との協議中ではありますが、渋滞回避のための道路整備や商業ゾーンへの導線、調整

【 産業建設常任委員会 所管事務調査 】

池貯水機能による被害軽減などを、調査、研究されるよう望むものです。